

2022年5月12日

**認定特定公益信託「公益信託 商船三井モーリシャス自然環境回復保全・国際協力基金」
が初年度助成対象プロジェクトを決定し、助成金給付を開始
～モーリシャス自然環境回復保全・地域社会貢献活動～**

株式会社商船三井（社長：橋本剛、本社：東京都港区、以下「当社」）がモーリシャス共和国（以下「モーリシャス」）の自然環境回復保全・地域社会貢献活動の一環として2021年11月30日に設立した、認定特定公益信託「公益信託 商船三井モーリシャス自然環境回復保全・国際協力基金」（註1）（以下「本基金」）は、2022年3月に開催した第一回運営委員会にて初年度の助成対象プロジェクト(表1)を決定し、2022年4月末より助成金給付を開始しました。

初年度の募集では、在モーリシャスの団体や本邦研究機関・団体などから質の高いプロジェクトを多数応募いただきました。本基金運営委員会による公正な選定の結果、「自然環境回復保全プロジェクト」、「地域社会貢献プロジェクト」の2部門計で11件のプロジェクトに対して資金提供することを決定しました。初年度の助成金総額は、約1億円となります。



(活動イメージ：マングローブ保全)



(活動イメージ：水圏資源利用開発)

(表1) 選定されたプロジェクト概要一覧

部門	団体名	対象活動	助成額概算*
自然環境回復保全	特定非営利活動法人 国際マングローブ生態系協会	<マングローブ>生態系保全・再生と持続可能な利活用への技術支援と人材育成	1,024 万円
	Reef Conservation	<マングローブ>生態系の研究と植林	820 万円
	静岡大学	<珊瑚礁>保全と回復のための科学的アプローチ	1,377 万円
	EcoMode Society	<珊瑚礁>AIアルゴリズムを用いた珊瑚礁の保護と積極的な保全	639 万円
	Birdlife International 東京	<野鳥>地元住民と共同した水鳥の研究調査	550 万円
	The Mauritian Wildlife Foundation	<生物>希少生物（鳥類と爬虫類）と海鳥のイグレット島における生息環境改善	500 万円
地域社会貢献	北海道大学	<水産・観光>水圏資源利用開発と漁家経営の改善支援	2,962 万円
	Association Pour Personnes En Larmes	<就労>職業訓練施設支援	917 万円
	The Good Shop	<社会福祉>持続可能な地域社会へ向けた循環経済維持支援	522 万円
	FALCON Association	<農業>有機農業や気候変動対応型農業導入支援	267 万円
	Gender Links Mauritius	<就労>WAKASHIO油濁事故後の女性漁業者の起業能力の強化	331 万円

*米ドル貸で助成金を支給する場合の円貨換算額は送金日の換算レートが適用されます。上記助成額は現在の換算レートを適用した概算額となります。

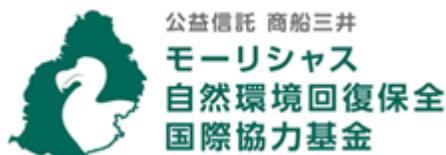
本基金では、2021年6月にモーリシャスに設立した「MOL チャリタブルトラスト」(註2)と比較し長期かつ大規模なプロジェクトを選抜し、プロジェクトによっては最長5年間の活動を予定しております(表2)。モーリシャスのマングローブ林、サンゴ礁などの豊かな自然や生態系の回復・保全、固有種を含む野鳥や渡り鳥の保護・研究活動の他、モーリシャスの経済の基盤となる水産業、観光業、文化活動の発展やそれらを支えるモーリシャス国民への人材育成にも支援を行います。

商船三井グループは、2022年4月に発表したサステナビリティ計画「MOL Sustainability Plan」(註3)において、サステナビリティ課題「人の活躍と地域社会の発展」、取組テーマ「地域振興」のアクションプランとして「モーリシャスにおける地域貢献活動」を設定しています。モーリシャスとその国民へ広く支援が行きわたるよう、今後もグループ一丸となって、モーリシャスの方々と共に活動を続けていきます。

(表2) 本基金(上段)・「MOL チャリタブルトラスト」(下段) 概要比較

基金名
公益信託 商船三井モーリシャス自然環境回復保全・国際協力基金 (英名: MOL Mauritius International Fund for Natural Environment Recovery and Sustainability)
支援内容(いずれも対象はモーリシャス)
<ul style="list-style-type: none">モーリシャス共和国における自然環境並びに生態系の回復および保全に関わる活動 例: マングローブ回復・保全・研究、サンゴ礁回復・保全・研究、野鳥・希少種野鳥の保護・研究モーリシャス共和国における水産、観光、文化教育等、地域社会の発展に関わる活動
設立国/設立日
日本/2021年11月30日
基金の特徴
広くあまねく公正に助成を行う。一般の方(法人・個人)からも寄付可能。プロジェクト期間は1~5年間とし、比較的大規模なプロジェクトを支援する。
拠出額
約5億円を想定(2020年9月に計画を発表した総額8億円規模の基金の一部)
受託者
三井住友信託銀行株式会社
信託管理人
東京エクセル法律事務所 弁護士 下山田 聡明氏
運営委員会メンバー
運営委員長: 立教大学 21世紀社会デザイン研究科 河口 眞理子氏 運営委員メンバー: 株式会社日本総合研究所 足達 英一郎氏 地域情報カスタマイズユニット 宮城 豊彦氏 国立研究開発法人 国立環境研究所 山野 博哉氏 公益財団法人 山階鳥類研究所 水田 拓氏 北海道大学水産科学研究院 東条 斉興氏
本基金専用サイト
https://www.mol-mauritius-fund.jp

本基金ロゴ：



基金名

MOL チャリタブルトラスト（英名：MOL Charitable Trust）

支援内容(いずれも対象はモーリシャス)

1. マングローブ保護・育成・保全プロジェクト/2. サンゴ礁回復・保全プロジェクト
3. 渡り鳥の保護・希少留鳥の保護・研究/4. 経済協力（漁業・水産業支援、観光支援を含む）
5. 文化財保護、活用に関する支援/6. 社会福祉を目的とする事業（含むモーリシャス学校教育支援）
7. インフラ整備活動/8. クリーンエネルギー関係、再生エネルギー関連活動
9. エコツーリズム、エコロジー啓蒙活動支援/10. 災害発生後の人道的支援

設立国/設立日

モーリシャス共和国/2021年6月21日

基金の特徴

プロジェクト期間は1年間、最大助成金額：1百万モーリシャスルピー（約300万円）/件とし、現地のニーズに寄り添ったプロジェクトに幅広く且つきめ細やかな助成を行う。

拠出額

約3億円を想定（2020年9月に計画を発表した総額8億円規模の基金の一部）

受託者

ITL Trustees Ltd（Intercontinental Trust Limitedの子会社）

協力銀行

Mauritius Commercial Bank Ltd.

運営委員会メンバー

運営委員長：MOL (Mauritius) Ltd 山下 悟郎

運営委員メンバー：社会福祉活動家 Mr.Darmen Ellayah/Celero Ltd.会長 Mr.Marc Dalais

モーリシャスの歴史、言語学、考古学博士 Mauritius Intercontinental

Slavery 博物館理事 Dr.Jimmy Harmon、他商船三井役職員より3名

MOL チャリタブルトラストロゴ：



(註1) 認定特定公益信託「公益信託 商船三井モーリシャス自然環境回復保全・国際協力基金」の詳細については、以下ウェブサイトをご参照ください。

[公益信託商船三井モーリシャス自然環境回復保全・国際協力基金 \(mol-mauritius-fund.jp\)](http://mol-mauritius-fund.jp)

(註2) 「MOL チャリタブルトラスト」の詳細については以下プレスリリースをご参照下さい。

[「MOL チャリタブルトラスト」をモーリシャスに設立 モーリシャスの地域社会・市民生活へのきめ細やかな支援活動を機動的にサポートする事を目指す基金 | 商船三井](#)

(註3) サステナビリティ計画「MOL Sustainability Plan」については、以下プレスリリース及び概念図をご参照下さい。なお、「モーリシャスにおける地域貢献活動」はサステナビリティ課題のうち、赤丸で囲まれた Human & Community(人の活躍と地域社会の発展)に該当します。

[サステナビリティ計画「MOL Sustainability Plan」の策定 | 商船三井](#)

商船三井グループでは、事業を通じて優先的に取り組むべき社会課題を「サステナビリティ課題」(マテリアリティ)として特定しています。



当社のモーリシャスにおける活動内容等については、[特設ページ](#)をご参照下さい。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社商船三井 コーポレートコミュニケーション部 メディア広報チーム

Email : mrtmo@molgroup.com / TEL : 03-3587-7015 / FAX: 03-3587-7705